

令和4年度版

環境経営レポート

(対象期間： 2022年4月～2023年3月)



発行日： 2023年6月9日

目次

- 1 会社・組織概要
- 2 対象範囲（認証・登録の対象組織・活動）
- 3 環境経営方針
- 4 環境目標
- 5 環境活動計画
- 6 実施体制
- 7 環境経営目標の実績、環境経営計画の評価、及び次年度の計画
 - 7.1 環境目標の実績とその評価
 - 7.2 環境活動計画に基づき実施した取組内容と結果の評価
 - 7.3 次年度の目標及び環境活動計画
- 8 環境関連法規の遵守状況並びに違反、訴訟などの有無
- 9 代表者による全体の評価と見直し、指示

1. 会社・組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社タチ製作所
代表取締役 館 まち子

(2) 所在地

愛知県清須市西田中長堀47番地1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役総務部長 館 毅 TEL：052-400-6151(代表)
担当者 総務部総務課長 石川 清二 FAX：052-409-0933

(4) 事業内容

1、産業機械用、昇降機用、自動車用等の機械加工部品の製造及び装置組立

(5) 事業の規模

	本社
売上高	37.3億円 (2022.4-2023.3)
従業員数	97名
延べ床面積	6,576㎡

(6) 事業年度

10月～9月

(環境レポートの対象期間は 4月～3月)

2 対象範囲（認証・登録の対象組織・活動）

登録事業者名： 株式会社タチ製作所

対象事業所： 本社・工場

活動： 1、産業機械用、昇降機用、自動車用等の機械加工部品の製造
及び装置組立

3. 環境経営方針

環境方針

<環境理念>

当社は、レーザ加工機等の産業機械部品および自動車部品、エレベータ・エスカレータ等の昇降機部品の製造メーカーとして、環境負荷の軽減に力点を置き、地域と融和して社業を発展させています。近年、地球温暖化問題はますます重大なテーマとなっており、これらを認識する中で、全員参加で省資源・省エネルギー、ゴミの資源化・減量化に継続的に取り組み、環境に配慮した生産活動を推進し、社会に貢献することを目指します。

<行動方針>

- I . 当社に、適用される法規制、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- II . 環境経営システムを運用するに当たり、以下を目標に展開します。
 - ①省資源・省エネルギーに取り組みCO2排出量を削減します。
 - ②生産活動での廃棄物の削減・リサイクルを推進します。
 - ③節水により総排水量を削減します。
 - ④環境に配慮したものづくりに努めます。
 - ⑤有害化学物質の適正管理をしていきます。
- III . 本方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的改善を進めます。

制定日：2012年10月1日

改定日：2019年4月1日

株式会社タチ製作所

代表取締役 舘 まち子

4. 環境目標

環境目標一覧表

環境目標は、2020年度（2020年4月～2021年3月）を基準年度とした。

環境負荷の実績を年度基準として2022年度に2%削減の中期目標を設定する。

項目	2020年度実績 基準年度	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
①二酸化炭素排出量の削減 <電力・ガソリン・軽油・灯油・LPG> (kg-CO ₂)	1,002,250	2%削減 982,205	3%削減 972,183	4%削減 962,160
②一般廃棄物排出量の削減 (削減対象は可燃ごみ) (kg)	4,740	2%削減 4,645	3%削減 4,598	4%削減 4,550
③産業廃棄物排出量の削減 (削減対象は廃プラなど) (kg)	82,600	2%削減 80,948	3%削減 80,122	4%削減 79,296
④水使用量の削減 (m ³)	1,837	2%削減 1,800	3%削減 1,782	4%削減 1,764
⑤化学物質（PRTR対象物質）の適正管理 (L)	トルエン (シンナー含有量60%) 710	入在庫管理 代替品の調査	入在庫管理 代替品の調査	入在庫管理 代替品の調査
⑥環境に配慮した製造 <加工油使用量管理> <不良削減>	—	使用量の把握と適正管理 不良率削減	使用量の把握と適正管理 不良率削減	使用量の把握と適正管理 不良率削減

- ① 二酸化炭素排出量は、電力・ガソリン・軽油・都市ガス・灯油・LPGの使用量の合計とする。
電気使用量のCO₂排出係数は、中部電力の2017年度の調整後係数：0.472kg-CO₂/kwhを使用。
- ② 一般廃棄物は可燃ごみ、資源ごみ（段ボール）があるが削減対象は可燃ごみとする。
- ③ 産業廃棄物は、廃油や廃プラスチックなどがあるが削減対象は廃プラスチックなどとする。
・廃油は実績値は把握するが、生産量とも関連するので、当面、実績値の把握のみとし削減対象とはしない。
・金属くずは、実績値は把握するが、有価物として取り扱うため削減対象とはしない。
- ④ 水使用量は、上水使用のみで総排出量と同量とする。
- ⑤ 化学物質（PRTR対象物質）は使用するラッカーシンナーに含まれるトルエン（比重0.85、含有率60%）を対象として実績値を把握する。
- ⑥ 環境に配慮した製造として、加工油の削減と不良率の低減に取り組む。

5. 環境活動計画

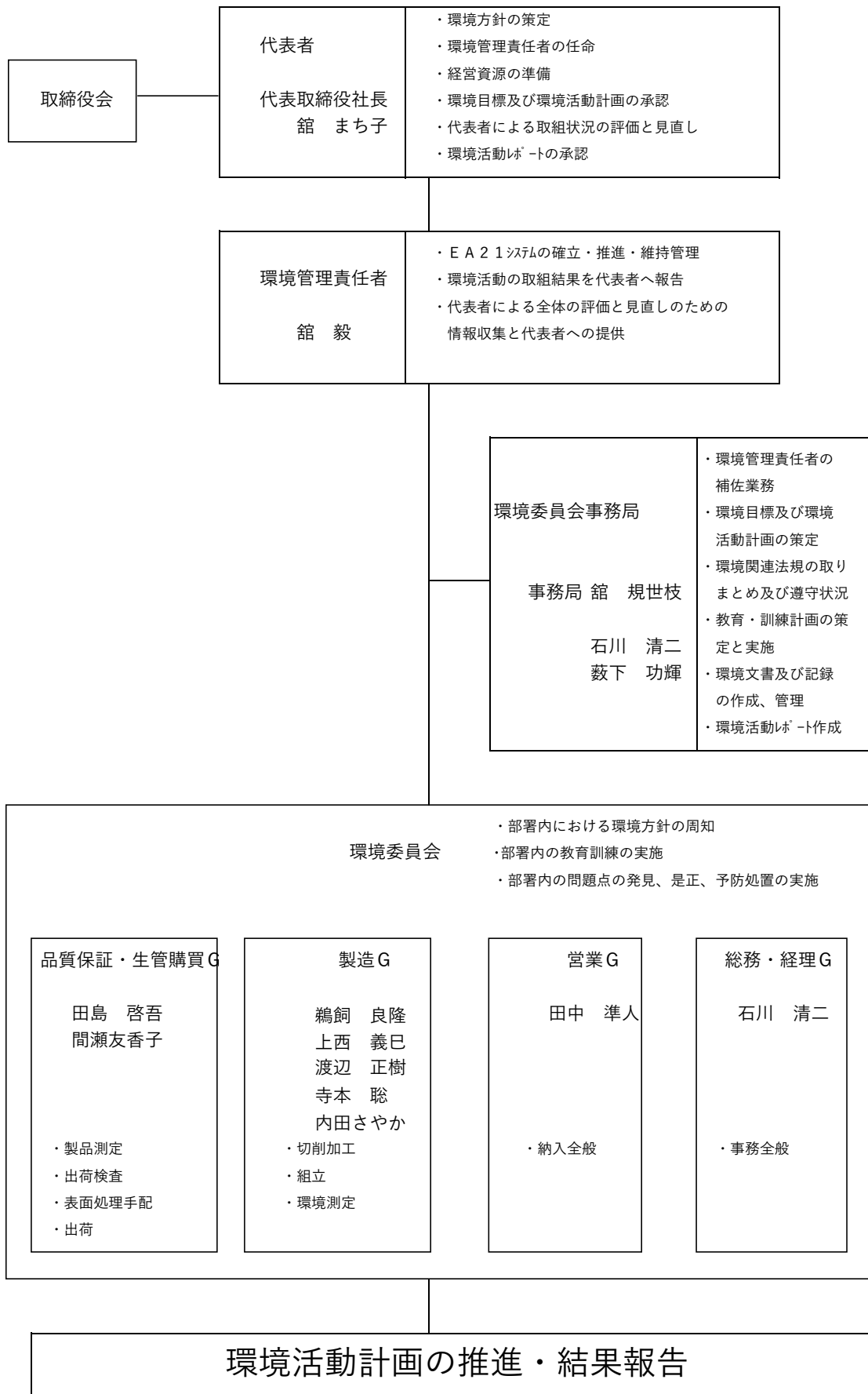
2022年度 毎月定期的に実施状況を確認する。

環境目標		取組内容	主な担当
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正化（冷房27℃ 暖房20℃） ・節電の実施（不要照明の消灯） ・フィルター交換・清掃(毎月) ・生産工程の待機時間短縮 ・O A 機器の省電力設定 ・窓にブラインド や遮光フィルムの貼付け ・省エネ機器の採用 	総務・経理 G 総務・経理 G 総務・経理 G 製造 G 総務・経理 G 総務・経理 G 総務・経理 G
	化石燃料使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ およびエコドライブ の励行 ・効率的なルートで納品・配送 ・適正な車輛整備（定期点検・タイヤの空気圧確認等） ・灯油使用管理 ・LPG使用管理 	営業 G 営業 G 営業 G 総務・経理 G 総務・経理 G
廃棄物排出量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底 ・古紙リサイクル業者の開拓 ・シュレッダー廃紙のリサイクル化 ・梱包材の再利用 ・帳票見直しによる印刷物の削減 ・分別ボックスの設置 ・作業ミスによる廃棄量の削減 	総務・経理 G 総務・経理 G 総務・経理 G 総務・経理 G 総務・経理 G 総務・経理 G 製造 G
水使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・節水シールの貼り付けと啓発 ・節水コマの取替え ・節水トイレへの更新 	総務・経理 G 総務・経理 G 総務・経理 G
化学物質の適正管理		<ul style="list-style-type: none"> ・容器の蓋の徹底 ・使用量の適正化 ・作業ミスによる使用量増加の抑制 ・入出庫管理の徹底 ・化学物質SDS整備 	製造 G 製造 G 製造 G 品質保証・生管購買 G 品質保証・生管購買 G
環境に配慮した製造		<ul style="list-style-type: none"> ・加工油の管理 ・不良率の低減 	製造 G 品質保証・生管購買 G
社会貢献活動		<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事に協賛 ・会社周辺の清掃活動 	総務・経理 G 総務・経理 G

6. 実施体制

作成・確認 : 2020. 11. 1

実施体制図と役割・権限・責任表



7.1 環境目標の実績

環境への取組の実施期間は、2022年4月から翌年3月までの1年間とし、2020年全体の実績（確認・見直し実施済）を基準値とし目標を設定し達成状況を評価しました。

環境負荷		2020年度	2022年度		評価	コメント
		実績(基準値)	目標	実績		
①二酸化炭素排出量の削減 <電力・ガソリン・軽油・灯油・LPG> kg-CO2		1,002,250	2%削減 982,205	1,208,996	×	受注数量の増加により稼働時間増加したため 目標未達
総 エ ネ ル ギ ー 使 用 量	電気使用量 (kwh)	2,046,457	2%削減 2,005,528	2,476,821	×	受注数量の増加により稼働時間増加したため 目標未達
	ガソリン使用量 (L)	9,702	2%削減 9,508	11,112	×	受注数量の増加により車両運搬数も増加したため 目標未達
	軽油使用量 (L)	4,717	2%削減 4,623	4,944	×	受注数量の増加により車両運搬数も増加したため 目標未達
	灯油使用量 (L)	0	0	0	○	機器の見直しなどにより使用量ゼロ 目標達成
	LPG使用量 (kg)	548	2%削減 537	467	○	バッテリーフォークリフトを2台入替したことにより 目標達成
②一般廃棄物排出量の削減 (削減対象は可燃ごみ) (kg)		4,740	2%削減 4,645	12,610	×	受注数量の増加により紙類等も増加したため 目標未達
③産業廃棄物排出量の削減 (削減対象は廃プラなど) (kg)		82,600	2%削減 80,948	250,760	×	受注数量の増加により梱包資材等も増加したため 目標未達
④水使用量の削減 (m ³)		1,837	2%削減 1,800	2,079	×	受注数量の増加により切削液希釈量も増加したため 目標未達
⑤化学物質 (PRTR対象物質) の適正管理 (L)		トルエン 710	出入庫管適正 管理	96	—	工場内環境整備で工場床の再塗装に大量使用したが、実績値は引続き把握する

電気使用量のCO2排出係数は、中部電力の平成29年度の調整後係数： 0.472kg-CO2/kwhを使用。

7.2 環境活動計画に基づき実施した取組み内容と結果の評価

(1) 削減取組活動

2022年度(2022年4月～2023年3月)

No.	施策(取組み項目)	具体的推進項目	月 度												取組み結果の評価
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1. 二酸化炭素排出量の削減															
電力使用量の削減	①空調温度の適正化(冷房27℃ 暖房20℃)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	夏期および冬期の温度管理を継続している
	②節電の実施(不要照明の消灯)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	③フィルター交換・清掃(毎月)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	④生産工程の待機時間短縮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	⑤O A機器の省電力設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	⑥窓にブラインドや遮光フィルムの貼付け	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	期間中の該当事項がなく、今後計画
	⑦省エネ機器の採用	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	期間中の該当事項がなく、今後計画
化石燃料使用量の削減	①アイドリングストップ およびエコドライブの励行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	②効率的なルートで納品・配送	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	③適正な車両整備(定期点検・タイヤの空気圧確認等)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	④灯油使用管理	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	⑤LPG使用管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
2. 廃棄物排出量の削減															
一般廃棄物の削減	①分別の徹底	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	②古紙リサイクル業者の開拓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	③シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	④梱包材の再利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	⑤帳票見直しによる印刷物の削減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
産業廃棄物の削減	①分別ボックスの設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	②作業ミスによる廃棄量の削減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
3. 水使用量の削減															
水道水の削減	①節水シールの貼り付けと啓発	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	②節水コマの取替え	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	期間中の該当事項がなく、今後計画
	③節水トイレへの更新	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	期間中の該当事項がなく、今後計画
4. 化学物質の適正管理															
化学物質の適正管理	①容器の蓋の徹底	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	②使用量の管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	③作業ミスによる使用量増加の抑制	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	④入出庫管理の徹底	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
	⑤化学物質SDS整備	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	各課取組により実施され、徹底されている
5. 環境に配慮した製造															
環境に配慮した製造	①加工油の適切な使用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	問題はなかった
	②不良率の低減(評価法の検討)	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	再調査後、目標を設定する

(2) その他の活動計画

No.	施策(取組み項目)	具体的推進項目	月 度												取組み結果の評価	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	その他年間活動計画	①環境教育(新入社員入社時)	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	新規雇用者を対象に実施している
		②緊急事態対応訓練(避難・消火訓練)	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	秋の全国火災予防運動に合わせて毎年実施している
		③環境に関する法規制等の順守評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	特に問題は発生していない
		④近隣とのコミュニケーションの充実	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	市のクリーン活動に参加したり、近隣のゴミ拾い等清掃活動を実施している
		⑤6S活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各課取組により実施され、徹底されている
		⑥レビューと代表者への報告	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	○	11・12月に実施(TQC会議・マネージメントレビューで確認)
		⑦代表者による全体の評価と見直し	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	11・12月に実施(TQC会議・マネージメントレビューで確認)

7.3 次年度の目標と環境活動計画

・次年度以降の環境目標 2025年度に2021年度比4%の削減を目指す

項目	2021年度実績 基準年度	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
①二酸化炭素排出量の削減 <電力・ガソリン・軽油・灯油・LPG> (kg-CO2)	1,280,005	2%削減 1,254,405	3%削減 1,241,605	4%削減 1,228,805
②一般廃棄物排出量の削減 (削減対象は可燃ごみ) (kg)	4,950	2%削減 4,851	3%削減 4,802	4%削減 4,752
③産業廃棄物排出量の削減 (削減対象は廃プラなど) (kg)	89,600	2%削減 87,808	3%削減 86,912	4%削減 86,016
④水使用量の削減 (m ³)	2,041	2%削減 2,000	3%削減 1,980	4%削減 1,959
⑤化学物質 (PRTR対象物 の適正管理 (L)	トルエン (シンナー含有量60%) 470.4	入在庫管理 代替品の調査	入在庫管理 代替品の調査	入在庫管理 代替品の調査
⑥環境に配慮した製造 <加工油使用量管理> <不良削減>	—	使用量の管理 不良率削減	使用量の管理 不良率削減	使用量の管理 不良率削減

・次年度の環境活動計画：以下の項目の実施と実施状況の月度確認を継続する

(1) 削減取組活動 右記項目を 重点取組とする	7.2項に示した2021年度活動の継続 電力削減 ②節電の実施 (非稼働機器の電源OFFの徹底) 化石燃料削減 ②効率的なルートで納品・配送 化学物質適正管理 ②使用量の管理 ④入在庫管理
(2) その他の活動計画 右記項目を 重点取組とする	7.2項に示した2021年度活動の継続 ②緊急事態対応訓練 (避難・消火訓練)

8. 環境関連法規の遵守状況並びに違反、訴訟などの有無

当社の事業活動に適用される環境関連法規を下記へまとめ、遵守状況を確認、評価しました。

確認評価の結果、違反はありませんでした。

なお、過去3年間に違反の指摘、訴訟はありませんでした。

2023年6月8日確認

適用法規	該当する規制	遵守項目	遵守
廃棄物処理法	廃棄物の適正分別と保管場所の確保	廃棄物分別手順と保管場所掲示	○
	産業廃棄物の適正処理	委託契約書	○
	マニフェストの交付と期間処理の確認	マニフェスト管理と5年間保存	○
	管理票交付状況の提出	管理票交付状況報告書	○
	特別管理産業廃棄物管理責任者の設置	管理責任者の設置	○
	特別管理廃棄物の帳簿の作成	帳簿の作成	○
フロン排出抑制法	フロン類回収時の委託確認書交付と 引取証明書の保存	フロン類回収引取証明書の保存	○
	漏洩点検対象室外機の簡易、定期点検	点検の実施と記録	○
化学物質排出把握 管理促進法（PRTR法）	性状及び取扱に関する情報（SDS）の 受取・発行	SDS発行受取状況	○
NOx・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した 自動車の使用	車検証 適合車マーク	○
消防法	火災の予防	工場・事務所の火災予防の徹底	○
	指定数量未満の危険物保管の扱い	報告書	○
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金支払い	○
浄化槽法	浄化槽使用開始届	現事業所新設時	○
	保守点検の実施、定期検査の実施	2～3ヶ月毎、定期検査は毎年	○
PCB処理法	保管及び処分の状況に関し知事に届出	報告書	○

9. 代表者による全体の評価と見直し、指示

2023年 6月 9日

代表者 舘 まち子

1. 全体の評価と見直し内容

《代表者コメント》

昨年よりガイドラインが2017年度版に改訂され、新しいガイドラインに基づきEA21への取組みも継続して活動ができています。

二酸化炭素排出量削減の取組みでは、従来から取組んでいる空調機の温度管理の徹底やクールビズへの取組み等も継続・実行されている。また今回、自家消費用の太陽光パネルを新たに追加設置したり、空調機の節電に特化した自動的に送風に切り替わる節電機器を導入するなど、一層の省エネ対策と節電対策にも取組んだ。

また、社用車を燃費の良いハイブリット車両やバッテリー車両などへ入れ替えることで化石燃料使用量の削減にも取組んだ。

数値目標については、目標値を見直し活動してきたが、業務量増加により、残念ながら目標未達の項目があった。

《環境管理責任者：改善の提案》

当社では、金属部品の加工等に当たり、加工油、洗浄油など様々な油脂類を使用していますが、生産量にも関係しますが、使用量や管理状況が適切かを、関連Gと連携して必要に応じて改善していくように検討願います。

2. 変更の必要性

環境方針	<input checked="" type="radio"/> 不要	・	必要
環境目標			実績を加味し、より実態に合ったものとしたい。
活動計画	<input checked="" type="radio"/> 不要	・	必要
環境運営システム	<input checked="" type="radio"/> 不要	・	必要

《その他変更の理由》

現状では特にありません。

3. 改善のための方針、結論、勧告等、環境管理責任者への指示事項

上記「1.全体の評価と見直し内容」に記載したとおりです。